



# 八幡小だより

北九州市立八幡小学校  
校長 田頭 麗宏



## 通知表「あゆみ」はこのように見てください ②

### 「出欠の記録」

学期ごとに集計した出欠状況をお知らせしています。3学期には、1年間の合計もお知らせします。インフルエンザや流行性耳下腺炎（いわゆる「おたふくかぜ」）などといった伝染病に感染した場合は、登校することが一定の期間認められないので、欠席ではなく出席停止の欄に日数が記入されます。忌引も同様です。

### 「身体の記録・からだのきろく」・・・1学期の「あゆみ」にだけ記載

年度初めに測定した身長・体重・視力をお知らせしています。

### 「教科の学習の様子（1年間の学習の様子）」

・・・3学期の「あゆみ」にだけ記載

学年の目標の達成状況を、年間を通して総合的に評価するものです。3年生以上の学年の3学期末に記入することになっています。



これも、他の子どもとの比較ではなく、教科の目標に準拠した評価です。ですから、「よい」「がんばろう」「たいへんよい」については、前号でお知らせした「各教科における観点別の学習の様子」と同様にお考えください。

渡された「あゆみ」は・・・  
学期ごとに「あゆみ」をお渡しするので、学校に返す必要はありません。「家庭」保護者へ渡してください。ただし、「あゆみ」を入れた封筒は、年間を通して使います。封筒の「保護者印の欄」に印を押して、新学期「担任」お返しください。

### ◇ ペガサス学級・耳の教室の「あゆみ」について ◇

これまでお知らせした内容とほぼ同じ「あゆみ」をお渡しします。大きく異なるのは、「自立活動」の時間があるため「第〇学期の自立活動の連絡」の欄があり、活動の様子や成長したことなどを記述するところです。なお、交流学級で活動することも多いため、それぞれの子どもの交流学級の担任とも連絡を取り合って評価をしています。

## 優しい方々に支えられ 優しい子どもたちがそだっています



まもなく1学期が終わろうとしています。終業式では「か・き・く・け・こ」にまとめた『1学期のめあて』を振り返るようにします。その中の「こ」は「心が温くなる行動をしましょう」ですが、今学期、子どもたちの優しさがうかがえる場面がたくさん見られました。

たとえば、下級生がボールを木の上に上げてしまった様子を見つけると、すぐにやってきて一生懸命取ろうとがんばる上級生たちがいました。また、登校に時間がかかっている一年生のそばで、優しく粘り強く学校に慣れるまで手を引いた上級生がいました。委員会活動などでも、上級生は下級生のお世話をよくしています。こうした八幡小の子どもたちの優しさは、本当に誇るべきものだと思います。

本年度、本校では、兄弟学年での活動に加え、1年生から6年生を14に分けた「縦割り班」をつくり、班単位で様々な活動をしています。これらの活動で異学年交流を進めたことも、子どもたちのつながりを深め、優しい行為を生む一つのきっかけになったのではないかと思います。



また、子どもたちの優しさに大きな影響を与えているのは、地域や保護者の皆様の優しいかわりに違いありません。先日も、「よしぼう橋」の階段のすべり止めの破損や、通学路の植え込みの雑草が茂って危険なことを区役所に伝え、改善に向けて働きかけてくださったボランティアやPTAの方がいらっしゃいました。いつも子どもたちの安全を見守ってくださるオレンジャーの方々や、図書の本の整理を手伝ってくださる保護者の方々、休みの間の生き物のお世話をしてくださるボランティアの方々……。ご紹介しきれない多くの皆様の優しさに感謝いたします。

